

## 「理解」とは何か ノートを用いた復習の仕方を考える

Q : 「復習」をするときにも、「理解」は大切なのですか。そもそも「復習」は何のためにするのですか。「復習」はどのようにしたらよいのですか。

A : (1) オー、一気に復習についての質問がたくさんきましたね。質問がたくさんあるのは、やる気のあらわれで、素晴らしいことです。大切なテーマですので、第3回目の今回も少しずつごいっしょに考えていきましょうね。

(2) 「復習」のときにこそ、授業を経た上で「ああ、これはこういうことなのか」と「納得する」「理解」は大切です。授業のあとに行うべきことは、よくわからないことを一つでもなくすこと、授業終了の範囲までの内容をすべて「理解」することです。授業中に同じことを学習することは二度とないのですからね。予習はわからないことをはっきりさせて授業に臨むために行うものだと前回お伝えしました。自分自身の力で「理解」できることは授業前の予習の中でできるだけ「理解」しておき、自分の力ではどうしても「理解」できないことを授業中に「理解」という学習の態度が大切だと私は考えます。

(3) 予習をしてできるだけ多くのことを自分の力で「理解」し、自分の力ではよくわからない、十分に「理解」できないところは何かを明確にして授業に臨む。それでもよく「理解」できないことを授業後の「復習」で「理解」するように努力する。そして、どうしてもわからなかったら先生に質問する。このような学習の態度が大切だと私は考えます。

(4) このような「学習」の態度は、「高校」でも、「大学」でも、「短期大学」でも、「専門学校」でも、「大学院」でも、また、「企業」でも、「官公庁」でも、様々な「社会活動の場」でも役に立つ、一生役に立つと私は考えます。是非、今日からでも実行して下さいね。

(5) 以上が、第1の質問、復習するときにも「理解」は大切なのかに対する私の解答です。「復習」のときこそ「理解」は大切です。

Q : それでは、2つ目の質問です。復習は何のためにするのですか。

A : ものごと、つまり学習する内容を完全に「理解」するために行うのが復習です。「予習」「授業」「復習」と段階を経るごとに「理解」が深まり、「完全理解」に至る。これが「復習」の意味、目的と私は考えます。

Q : では、どのように復習をしたら「完全理解」を実現できると塾長はお考えですか。

A : (1) 私は、「復習」で最大活用すべきは「授業中のノート」だと考えます。

(2) 授業中に必要なことをメモしたノートを、授業が終わったら取り出して、先生の授業を思い出しながら書き足りないことを書き加えていくことを、「復習」の第一ステップとしてお勧めします。

(3) 次に、色鉛筆や淡い色のラインマーカーを数種類用意して、大切なこと、よくわからないことなどを色分けしたり、線で囲いをつけたりしておくことが大切です。また、その日の授業で大切と思われるところはノートにまとめておくこともとても大切です。

- (4)特に、「ことば」の意味がよくわからないものがあつたら、復習のときも「辞書」を用いて調べ、調べたことばとその意味を科目別の「意味調べノート」に必ずメモし、記録しておきましょうね。
- (5)辞書で「ことば」の意味を調べても、内容がよくわからない場合はどうするか。例えば、算数の「分数」や「小数」の意味を辞書で調べても、それだけでは内容がよくわからないと思います。また、小学校6年の社会や中学校3年の公民の「日本国憲法の3大原理は国民主権、平和主義、基本的人権の尊重」の「ことば」の意味を「理解」するためにはどうするか。「日本」「国」「憲法」「三」「大」「原理」「国民」「主権」「平和」「主義」「基本的」「人権」「尊重」の1つ1つの「ことば」のうち意味がよくわからないものがあれば、辞書で調べることはとても大切です。1つでも「ことば」の意味がわからなければ、必ず調べたほうがよいと私は考えます。しかし、いくら辞書で「ことば」の意味を調べても、この文章全体の「内容」はよく「理解」できないと思います。そんなときはどうするか。これが大問題です。復習をしていて、辞書を用いて調べることで「ことば」の意味はわかって、「内容」がよくわからないときには「教科書」や「教材」、「その科目の学年別参考書」、「科目別の用語集」、「科目別の事典」、「百科事典」などを用いて調べることが大切です。特に「教科書」が一番大切です。

Q：復習するときには、授業中の「ノート」だけでなく、「教科書」や「教材」、「問題集」も「学習」したほうがよいのですか。

- A：(1)その通りです。復習では、まずは、「授業中のノート」を用いて先生の授業を振り返り、「理解」を深めることが最も大事ですが、次にやるべきことは、授業の範囲について「教科書」や「教材」、「問題集」のすべてをゆっくりと「学習」することです。
- (2)「授業」で説明がなされ、大体は「ああ、これはこういうことか」と「理解」がなされていることでも、すべてを十分に「理解」していないこともあると思います。ですから、先生の授業をお聞きするつもりで、もう一度、一語一句を丁寧に丁寧に読み、「学習」をし直すことが大切です。
- (3)時間の関係でよく説明されなかった内容があれば、この復習を活用して十分に「理解」して下さいね。「問題集」の問題で授業中にやり残した問題はすべて、この「復習」を用いてやり終えて下さい。

Q：授業でやり残した教科書や問題集の問題を「復習」していて、答えがよくわからないものがあつたらどうしたらよいですか。

- A：(1)よい質問ですね。このような質問をする積極的な態度が「学習」には必要です。
- (2)「答えがよくわからない問題」があつたら、「授業中のノート」や「教科書」、「教材」、「学年別の参考書」をもう一度ゆっくりとよく読み直すことをお勧めします。
- (3)それでもわからなければ、「教科別の事典」や「百科事典」で調べましょう。「問題集の解答・解説」を見るのは、そのあとにしましょうね。
- (4)調べたことはすべて「ノート」にメモし、記録しておきましょう。
- (5)「問題集の解答・解説」をいくら「学習」しても、なぜそのような答えになるかわからない問題は、しばらく放っておき、しばらくしてから再度挑戦しましょう。学習が先のほうまで進むと、意外に簡単に解ける問題も出てきます。
- (6)それでもわからなければ、先生に質問に行きましょう。これが私の答えです。

Q : 「ノート整理」とは何ですか。

A : (1)この質問は、「ノート」は何のためにあるのかという大問題と直結する素晴らしい質問です。

(2)私は、授業中にノートを取り、授業後にノートを整理するのは、ノートをスミからスミまで覚えて自分のものにするため、自分のものとして身に付けるためだと考えます。すべて覚えて自分のものにするために、ノートを取り、ノートを整理するのだと私は考えます。

(3)先生の授業の内容をできるだけ正確、詳細にメモする、ノートに取るのは、大事な授業を聞いてその場で「理解」できても、すべて記憶することは難しいからです。聞いただけで授業の内容をすべて記憶できる人も、何人かに一人はいるかもしれませんが。しかし、私を含め普通の人は、授業中に「これは、こういうことか」と「理解」したことのすべてを長時間記憶に留めることは難しく、時間が経てばどんどん忘れ去ってしまうのではないかと思います。

(4)そこで、授業中に先生から教えて頂いたことは、ノートにできるだけ詳細に丁寧にメモを取り続け、授業後の「学習」に役立てる人が多いのです。

(5)授業の受け方として、先生のお話は聞くけれども、ノートは一切取らないという人もいますが、私はあまり感心しません。その場では「理解」しても、何日か、何か月か時間が経つと聞いた内容のほとんどを忘れてしまうことが多いからです。

(6)人の話を聞き、その内容をノートに取ることができるのは、大切な能力です。ちなみに、私はフランス語で話を聞いてもノートに全く取れません。英語なら少しは取れますが、日本語ほどは取れません。別な言い方をすると、私は日本語でノートを取る能力があります。しかし、私がノートを取ることができるのは日本語だけで、日本語以外の言語ではノートを取る能力はありません。

社会に出ると、人の話を聞いてメモを取る、ノートを取ることはとても大切であることが痛いほどわかります。大切な約束をしても、その内容をメモし忘れてたら、約束を果たすことができません。その結果、大切な仕事を失うことすらあります。

私は、学校生活の間は授業中に板書事項や先生のお話をノートにしっかりとメモを取り続け、社会に出るまでにメモを取り続ける力、ノートを取り続ける力を身に付けて頂きたいと皆様に心から希望します。

Q : ノート整理の仕方を説明して下さい。

A : (1)話が飛んで申し訳ありませんでした。

(2)ノート整理で一番大事なことは、ノートに「順番」と「見出し」をつけることです。

(3)順番は次のようにつけます。

.....
1 . ..... (1).....
.....
.....

- ・まずは、 、 、 、
- ・次は、1 . 2 . 3 . 4 .
- ・その次は、(1)、(2)、(3)、(4)
- ・更には、 、 、 、
- ・大項目、中項目、小項目と表現の仕方を分けて「見出し」もつけます。

「項目分け」と「見出し」をつけるときは、「教科書」や「教材」、「学年別参考書」を参考にして下さいね。

(4)ラインマーカーや色鉛筆を用いて下線を引くこと、大切なことばを線で囲うこと、文章全体を線で囲うことも大切です。

(5)「ノート整理」をし、「ノートのすべてをスミからスミまで覚える」ことがしやすいように、授業中にノートを取ることができれば最高です。そのための工夫として、授業中のノー

トは左のページに取り、右のページには何も書かない人もたくさんいます。

- ・ ノートの 1 ページを半分に折り、左側には授業中にメモをし、右側には何も書かない人も多いようです。
- ・ 余白は、授業が終わったあとに、授業を思い出して書き加えたり、調べた内容を書き加えたりするために用います。

(6)授業中に「ノート」を取るとき、「ノート」を「整理」するときには、この「ノート」に書いてあることをスミからスミまで全部覚えるのだという<sup>きがま</sup>気構えが大切です。では、どのようにしてノートに書いたことをすべて覚えたらよいかについては、「定着」のところでお話します。お楽しみに。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)「ノートの取り方」、「ノート整理の仕方」については、いろいろなやり方があります。私の考えは、その 1 つに過ぎません。いろいろな先生や友達から教えてもらい、また、本を読んで自分なりの「ノートの取り方」、「ノート整理の仕方」を工夫し、身に付けて下さいね。

(2)最後に一言。「ノート」に取った内容を授業後によく「整理」し、スミからスミまで覚え、1 日 1 回、寝る前に目を閉じてどのような内容であったかを思い出してみましょ。学力が飛躍的に向上しますよ。今回はここまでです。最後までよくお読み下さいね。感謝します。

2012 年 8 月 16 日林明夫記